



## 2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月12日

上場会社名 帝国繊維株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3302 URL <http://www.teisen.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白岩 強  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画部長 (氏名) 岡村 建 TEL 03 (3281) 3022  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第3四半期の連結業績 (2020年1月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	24,123	2.6	2,920	△5.2	3,571	△1.8	2,482	1.0
2019年12月期第3四半期	23,523	9.5	3,081	△8.4	3,638	△5.4	2,457	△7.2

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 △1,699百万円 (ー%) 2019年12月期第3四半期 3,926百万円 (452.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	94.20	92.31
2019年12月期第3四半期	93.51	91.69

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第3四半期	63,365	52,432	81.6	1,958.01
2019年12月期	72,479	55,157	75.1	2,070.68

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 51,712百万円 2019年12月期 54,406百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	45.00	45.00
2020年12月期	—	0.00	—		
2020年12月期 (予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年12月期の連結業績予想 (2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	△9.6	3,700	△34.1	4,200	△32.2	2,900	△31.9	110.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期3Q	27,354,400株	2019年12月期	27,218,400株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	943,446株	2019年12月期	943,425株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期3Q	26,355,379株	2019年12月期3Q	26,275,203株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、当初企業収益や雇用環境の改善等を背景に緩やかな回復基調が続くと見られていたものの、新型コロナウイルス感染が急速に拡大し、それに対応する企業活動の自粛や緊急事態宣言の発出により、個人消費や輸出、生産の減少に加え、雇用情勢や設備投資も弱含みになる等、極めて厳しい状況で推移しました。依然世界各国において新型コロナウイルス感染拡大は続いており、先行き深刻かつ不透明な状況が続いております。

防災事業の分野では、新型コロナウイルスの急速な感染拡大により、多くの人命が奪われており、パンデミックへの備えは、人類が取り組むべき永続的なテーマであることが改めて認識されています。また、7月に入り、線状降水帯による集中豪雨により、熊本県を中心とした九州や中部地方に甚大な洪水被害が発生しました。急激な気候条件の変化を背景に、毎年のように繰り返される豪雨や暴風は、河川の氾濫や土砂災害などにより、国民生活、企業活動に大きな混乱を生じさせています。また、首都直下地震、南海トラフ地震による脅威もますます高まっています。さらに、世界各地で発生するテロにより多くの人命が奪われるなど特殊災害のリスクが世界的な広がりを見せており、多様化・多発化・激甚化する災害に対する官民挙げての防災体制の確立がますます重要となっております。

繊維事業の分野では、リネン(麻)につきましては、麻素材の市場定着が進んでまいりましたが、新型コロナウイルスの影響から市場は収縮しており、売上は減少しています。一方、耐熱、耐切創、高強力など優れた機能の特徴とする高機能繊維につきましては、防護服分野を中心に新規商材の開発が進捗しつつあります。

2020年度よりスタートした第五次中期経営計画「帝国繊維(テイセン)2022」では、スーパー台風や記録的な大雨による洪水や高潮による被害が急激に増大していることを踏まえ、大量送排水システム(ハイドロサブシステム)の拡販による、水害対策への貢献を通じ、優れた商材と強力な営業力(体制)で、新たな市場の開拓とビジネスの確立を目指します。セキュリティビジネスにおいては、大きく発展した空港向けセキュリティビジネスを足掛かりとして、その先にある膨大な市場ポテンシャルを掘り起こし、新たなフロンティアを切り拓いてまいります。一方、多様化・多発化・激甚化する災害に備えるための消防・企業の防災対応力強化、生産体制の刷新にも取り組み、消防用ホースをはじめ革新的な防災特殊車両などの開発とその拡販をもって、消防防災・産業防災の装備刷新・充実に貢献してまいります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は241億2千3百万円(前年同期比2.6%増)、営業利益は29億2千万円(同5.2%減)、経常利益は35億7千1百万円(同1.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は24億8千2百万円(同1.0%増)となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

防災事業では、救助工作車、空港化学消防車が引き続き堅調に推移していることに加えて、コンビナートなど大手民間企業向け大型防災資機材及び空港向けセキュリティ機材が売上を伸ばした一方で、消防ホース等において、前年同期の消費税増税前の駆け込み需要の反動による減収要因等があり、売上高は187億2千4百万円(前年同期比2.1%減)となりました。

繊維事業では、前期減少した官公庁向け繊維資材の売上が回復したことから、売上高は49億7千4百万円(前年同期比25.2%増)となりました。

不動産賃貸事業・その他は概ね順調に推移しており、売上高は4億2千4百万円(前年同期比2.2%増)となりました。

当第3四半期連結累計期間では、新型コロナウイルスによる業績への影響は、軽微であります。今後共、経済動向やサプライチェーンへの影響等も含め動向を注視しつつ、「帝国繊維(テイセン)2022」で掲げた「先端的防災事業の確立・発展」を通じ、収益力の持続的拡大と企業価値の向上への取り組みに鋭意注力してまいります。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して、総資産が91億1千3百万円減少し、633億6千5百万円となりました。

これは主として、現金及び預金や有形固定資産が増加した一方で、売上債権、たな卸資産の減少や保有上場株式の含み益の減少などがあったことによるものです。

負債は、仕入債務、未払法人税等や繰延税金負債が減少したことなどにより、前連結会計年度末と比べ63億8千8百万円減少し、109億3千3百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が増加した一方で、保有上場株式の含み益の減少などがあり、前連結会計年度末と比べ27億2千4百万円減少し、524億3千2百万円となりました。

この結果、自己資本比率は81.6%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では2020年2月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,766,184	12,138,419
受取手形及び売掛金	12,219,143	3,327,672
有価証券	12,349,990	12,349,980
商品及び製品	6,151,492	5,119,098
仕掛品	1,341,231	1,352,587
原材料及び貯蔵品	672,739	738,808
その他	373,739	835,032
流動資産合計	41,874,521	35,861,599
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,586,036	2,674,337
機械装置及び運搬具（純額）	316,764	258,805
工具、器具及び備品（純額）	277,716	237,672
土地	1,700,118	3,593,735
建設仮勘定	99,268	904,971
有形固定資産合計	4,979,905	7,669,522
無形固定資産		
投資その他の資産	276,895	282,124
投資有価証券	25,015,693	19,264,129
退職給付に係る資産	52,336	27,468
繰延税金資産	72,984	75,195
その他	210,195	188,867
貸倒引当金	△3,159	△3,159
投資その他の資産合計	25,348,049	19,552,500
固定資産合計	30,604,850	27,504,147
資産合計	72,479,372	63,365,746

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,685,802	2,921,956
1年内返済予定の長期借入金	78,600	20,700
未払法人税等	1,357,544	165,579
役員賞与引当金	11,000	3,000
賞与引当金	—	236,944
役員退職慰労引当金	300,000	—
その他	1,754,667	1,238,374
流動負債合計	9,187,615	4,586,553
固定負債		
長期預り保証金	719,594	673,637
繰延税金負債	7,169,128	5,460,580
退職給付に係る負債	96,572	103,535
資産除去債務	30,376	30,104
長期未払金	118,690	78,650
固定負債合計	8,134,360	6,346,508
負債合計	17,321,975	10,933,061
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,444,090	1,538,002
資本剰余金	818,495	912,407
利益剰余金	35,660,983	36,961,334
自己株式	△377,096	△377,146
株主資本合計	37,546,472	39,034,598
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,842,566	12,662,281
繰延ヘッジ損益	17,946	16,083
その他の包括利益累計額合計	16,860,513	12,678,364
新株予約権	750,411	719,722
純資産合計	55,157,396	52,432,684
負債純資産合計	72,479,372	63,365,746

## （2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年1月1日 至 2019年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2020年1月1日 至 2020年9月30日）
売上高	23,523,233	24,123,720
売上原価	16,997,115	17,898,997
売上総利益	6,526,118	6,224,722
販売費及び一般管理費	3,444,357	3,304,386
営業利益	3,081,760	2,920,335
営業外収益		
受取利息	270	407
受取配当金	524,258	652,408
持分法による投資利益	1,429	1,240
その他	36,395	19,420
営業外収益合計	562,353	673,476
営業外費用		
支払利息	3,001	2,246
為替差損	—	3,418
保険解約損	2,374	1,036
支払手数料	—	15,849
その他	541	201
営業外費用合計	5,917	22,752
経常利益	3,638,195	3,571,060
特別利益		
固定資産売却益	886	10
投資有価証券売却益	—	1,334
特別利益合計	886	1,344
特別損失		
固定資産処分損	51	45,025
特別損失合計	51	45,025
税金等調整前四半期純利益	3,639,030	3,527,380
法人税、住民税及び事業税	1,256,946	916,259
法人税等調整額	△74,947	128,395
法人税等合計	1,181,998	1,044,654
四半期純利益	2,457,031	2,482,725
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,457,031	2,482,725

（四半期連結包括利益計算書）  
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年1月1日 至 2019年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2020年1月1日 至 2020年9月30日）
四半期純利益	2,457,031	2,482,725
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,489,145	△4,180,285
繰延ヘッジ損益	△20,089	△1,863
その他の包括利益合計	1,469,056	△4,182,148
四半期包括利益	3,926,087	△1,699,423
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,926,087	△1,699,423



（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2019年1月1日 至 2019年9月30日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	防災	繊維	不動産賃貸	その他	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高							
外部顧客への売上高	19,133,109	3,974,621	389,133	26,368	23,523,233	—	23,523,233
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,776	20,499	8,460	—	33,736	△33,736	—
計	19,137,886	3,995,121	397,593	26,368	23,556,969	△33,736	23,523,233
セグメント利益	3,572,811	402,555	277,153	9,298	4,261,819	△1,180,058	3,081,760

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,180,058千円には、セグメント間取引消去△16千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,180,042千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	防災	繊維	不動産賃貸	その他	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高							
外部顧客への売上高	18,724,183	4,974,776	400,043	24,717	24,123,720	—	24,123,720
セグメント間の内部売上高又は振替高	7,446	19,074	8,460	—	34,980	△34,980	—
計	18,731,629	4,993,850	408,503	24,717	24,158,701	△34,980	24,123,720
セグメント利益	3,169,678	467,761	288,316	7,116	3,932,872	△1,012,536	2,920,335

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,012,536千円には、セグメント間取引消去511千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,013,048千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、一部の連結子会社の事業区分の見直しを行い、「防災」及び「繊維」としていた報告セグメントを「防災」に集約しております。

この変更により、当該子会社の報告セグメントに配分していない全社費用等についても「防災」に集約しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。